

第5回戸田市自治基本条例推進委員会

次 第

日時：令和7年9月16日（火）

午前10時～11時30分（予定）

場所：5階大会議室A

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 題

- （1）パンフレットの決定について
- （2）パンフレットの最終ページの内容について
- （3）その他

4 閉 会

資料1 第4回自治基本条例推進委員会グループディスカッションまとめ

(令和7年7月4日(金) 50分間グループディスカッション)

★A班

1, パンフレットの構成について

- ①自治基本条例やまちづくりについて、簡単に説明。
- ②地域活動や市民活動団体に取材した内容を紹介
(インタビュー内容の詳細はQRコードからHPにて確認していただく)
- ③裏面にて、パンフレットにて紹介した団体などに関連する情報をQRにて掲載する。

2, グループディスカッション時のポイント

- ・裏面 (QRコードで載せる情報)
→減らすか、変更するか
- ・レイアウト (パンフ、HP)
→見やすさ、読みやすさについて

【パンフレットの見やすさ・読みやすさについて検討】

- ・インタビュー受けた側の意見としてはもう少し文書を増やしてほしいが、読みやすさを考慮するとのこのくらいになるのもわかる。このままで良い。
- ・パンフレットの写真が何をしている写真か分からない。

→各写真のキャプションを足す。

(例) おやじの会：巡回中 お父さん頑張っています！

みどりのボランティア：戸田公園駅前の花壇で活動中

- ・インタビューした方のお名前・役職を記載する。
- ・各団体の説明文を短く載せる。
- ・インタビューの全文が記載されている HPのQRコードは、団体さんの横に入れる。
- ・記載されている各団体への連絡を希望したときに、今のままだと連絡先が分からないのでどこかに記載する。

→パンフレットはあまり適さないので、インタビュー記事を書いているHPが良いか？

- ・インタビュー記事を読んでいると、視線が様々な場所に散ってしまうため読みづらい。質問事項が各ページの右上に固定されているので、インタビューごとに簡単に質問を載せる。
- ・喋っているのがわかる部分のみ吹き出しにし、それ以外は吹き出しにしない。
- ・コメントの吹き出しは四角ではなく、丸くする。
- ・写真の枚数を増やし、推している写真を1つ選んで大きくする。
- ・QRコードとリスを小さくし、ページの容量を増やす。インタビューの部分の範囲を広げる。
- ・P.7～8が3団体で、2団体さんが半ページになってしまい、公平性に影響はないのか。
P.1～3をもっと圧縮して、1ページ増やすのが良いのではないのか。

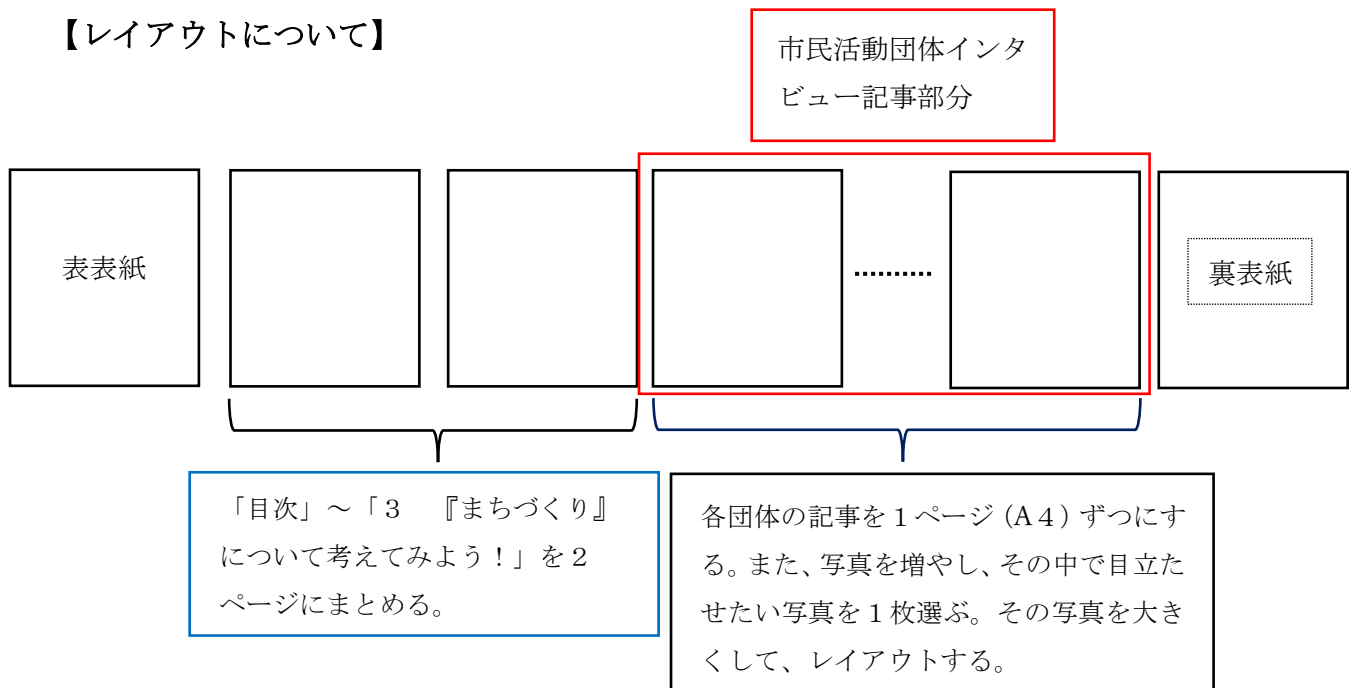
- ・市民活動団体については、何故この団体だったのかについてお話が来ている（小野塚さんのところへ）。全ての団体のインタビュー終了後に、「いろいろお話が聞けたね！他にもいっぱい団体さんがあるんだ！調べてみよう！」と、他の団体さんにも触れ、裏表紙の QR コードにつなげるのが良いのではないかな。

【裏面についての検討】

- ①裏面は今回の内容と関係のない「パブリック・コメント制度」や「戸田市国際交流協会（TIFA）」は削っても良いのではないかな。
- ②一番見やすい上の部分に、今回取材した地域活動に関する町会や市民活動団体さんが記載されている「町会・自治会検索」「戸田市ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」を持ってくるのが良いのではないかな。
- ③戸田市を知ってもらうという観点で、輪の中に「戸田市公式 LINE」をいれる。

上記以外はそのまま残し、②になるようなデザインになるよう提案してもらう。

【レイアウトについて】



1, パンフレット及びHPのレイアウトについて

①表紙

- ・「自治基本条例」に関するパンフレットであることがわかるようにする。
- ・ラックに並べても見えるように、文字を上の方にする。
- ・「みんなの力で…」よりも、副題の方にインパクトがあるため、そちらを目立たせる。
- ・戸田市で作成されたものとわかるように、表紙の背景などに戸田市の写真や地図、マークなどを入れる。

②中身

- ・目次はいらない。
(過去に作成された小冊子には目次がない。ページ数も少ないのでなくても良いのでは。)
- ・QRコードが読み取れない人のために、検索ワード(例:自治基本条例 町会)も併記したほうがよいのではないか。
- ・「まちづくり」についてイメージしやすいものを入れた方がよいのではないか。
→3ページ目で説明があるので、それで対応。
- ・3者で協力なのに、議会に関する内容がない。議長にインタビューして、協働の取り組みを応援するコメントをもらうのはどうか。

→議長である浅生さんにインタビューを検討。

(インタビューには遠藤議員も立ち会ってくださる予定。)

→遠藤議員と後日調整した結果、市民・行政・議会それぞれの委員からコメントをもらう。

- ・市民活動に参加している外国人の方の話も載せたい。

→取材相手を探すところからなので、今回は時間的に難しいが、いずれ、そのようなこともできれば…。

- ・1ページ下段の内容を、最終ページにしたほうが、共感もできて良いのではないか。

(まちづくりに関する活動の紹介を見てから、「～参加してみませんか?」で終わった方が良いと思う。)

③文言の修正

<2ページ目>

- ・2「まちづくり」について → できることから始めてみよう
- ・例えば… 地域で活動 → わかりやすく活動を具体的に
→ 3つの内容の書き方を統一させる。

<3ページ目>

- ・～活動している「団体に」 → ～活動している「方たちに」

③HP

- ・変更なし

(インタビューで話した内容がどこにも出ていない。ということがないよう、文量が多いが、そのままです。)

2, パンフレットの裏表紙の情報の精査・更新について

- ・あなたの身近な「悩み」や～ → あなたの「想い」や～
- ・「何かお困りごとがあれば」 → 「まちづくりに参加したい場合は」
- ・問い合わせ先に、戸田市役所だけではなく「協働推進課」も併記する。
- ・吹き出しのリスを別のリスに変える。

みんなの力で 戸田のまちづくり

～ 戸田市自治基本条例～

～ まちはステージ！わたしが主役！～



自治基本条例のマスコットキャラクター

1 戸田市自治基本条例ってなに？

市民・議会・行政の3者が協力してよりよいまちづくりを行うための基本的な考え方やルールを定めたもので、平成26年7月に施行されました。

戸田市自治基本条例推進委員会では、みなさんにまちづくりは身近で気軽に参加できることを知ってもらいたいと思い、条例の理念の普及啓発を推進しています。このリスのイラストやリーフレットも委員の市民・議会・行政の3者協働で作成しました。



まちづくり基本原則



2 できることから始めてみよう！

市民それぞれの活動も一つの「まちづくり」です。身近なことから一歩踏み出してみましょう！



3 まちづくりの紹介

～地域を支える仲間を作ろう～

喜沢 1 丁目町会

Q. 町会へ参加したきっかけは何ですか？

A. 町会には、PTA の会長として地域と学校を繋ぐため、町会へ足を運ぶようになり、今も活動しています。

Q. やりがいは何ですか？

A. 行事の参加者の楽しそうな表情や OB からの激励の言葉です。やりがいや喜びが、新しい取り組みを実行することに繋がっています。

Q. 大変なことは何ですか？

A. 町会の加入促進に苦勞しています。様々な世代が興味を持ってくれるよう、子育てサロンや、夏休み中に子どもたちへの町会会館開放などの取り組みも行っています。

Q. みなさんへひとことお願いします！

A. ご意見をいただきながら、魅力ある町会運営を支えていただきたいと思います。

<活動の様子>



お話を伺った
喜沢 1 丁目町会長



お祭りの様子

町会とは？

同じ地域の近隣の方と親睦・交流を深め、住みよい地域を作る活動をしている団体。
戸田市には自治会も含め 47 団体ある。

ここに入りきらなかった話がたくさんあります！
詳細インタビューは、戸田市公式 HP や裏面の QR コード（自治基本条例 HP）からご覧ください。

～子どもは地域の宝～

氷川町子ども会

Q. 子ども会へ参加したきっかけは何ですか？

A. 私自身が子ども会で楽しんだ思い出があるからです。娘の入学を機に入会しました。

Q. やりがいは何ですか？

A. 登下校時等、子どもたちと元気に挨拶をし、子どもたちにとって「安心できる大人」として関われる事が、とても嬉しいです。

Q. 大変なことは何ですか？

A. 会員減少が最大の課題です。運営は保護者の負担を減らすため、「できる範囲で、できる人が少しずつ」を大切に行っています。

Q. みなさんへひとことお願いします！

A. 子ども会は情報交換できる場でもあります。地域に知り合いがいない、初めて戸田に引っ越してきた…そんな方にこそ、ぜひ参加してほしいです。



<活動の様子>



クリスマス会の様子



活動の様子

子ども会とは？

盆踊り、ラジオ体操、清掃活動など、さまざまな活動を通じて、地域の子ども達を育みながら、地域ぐるみで子どもを育む団体。



～地域におやじの力を！～

喜沢小学校おやじの会

Q. おやじの会へ参加したきっかけは何ですか？

A. 平日は学校行事に参加することが難しいですが、土日なら子どものために、関われるからです。

Q. やりがいは何ですか？

A. 学校行事などに参加した際、同志から挨拶や話すことなど増え、入って良かった言う声が多いことです。

Q. 大変なことは何ですか？

A. メンバーが増えないことです。
子どもたちの自主性や協調性を育むこと、地域や人とのつながりを大切に、多彩なプログラムを考えています。

Q. みなさんへひとことお願いします！

A. 今後も子どもたちと共に活動を通して、子どもらしい教育のお手伝いが出来ればと思います。

<活動の様子>



おやじの会オリジナルTシャツ



防災キャンプの様子

おやじの会とは？

小学校単位で組織される地域活動グループ。学校や地域の活動に父親が積極的に参加し、子育てや地域コミュニティの活性化を目指す

～1人ひとりが災害に備えよう～

戸田市防災士会

Q. 防災士になったきっかけは何ですか？

A. 市から防災士資格を取得するための助成金制度があるという話を聞き、「町の安全を守るために役立てたい」と、防災士の資格を取ろうと決意しました。

Q. やりがいは何ですか？

A. 行政機関や各町会とさらに連携を深め、地域の皆さまに防災意識を高めていただけるような活動を積極的に展開したいです。

Q. 大変なことは何ですか？

A. 認知度が十分ではないため、活動の際にやりづらさを感じる場面もあります。

Q. みなさんへひとことお願いします！

A. より多くの方々に防災の重要性を伝え、安心・安全なまちづくりに貢献していければと願っております。

<活動の様子>



避難訓練イベントでの様子



防災ワークショップでの様子



防災士とは？

災害に対する十分な知識・技能について、日本防災士機構が認証し、民間資格を持った方。減災と社会の防災力向上のために活動している。

～スマホと友達になってみよう～

スマホの楽校

Q. 講座を始めたきっかけは何ですか？

A. 「ちょっとしたことを聞きたい」「家族に聞きづらい」と悩む高齢者の方の声に応えられる、気軽な相談場所として開催しています。

Q. やりがいは何ですか？

A. 「ありがとう」や「ここに来てよかった」の声が支えになっています。

Q. 大変なことは何ですか？

A. 機種ごとの対応が大変です。若い世代の講師・サポート役が少ない。会場や活動の広がりを模索中です。

Q. みなさんへひとことお願いします！

A. スマホに不安を感じている方、ぜひ一度のぞいてみてください。また、講師・サポート役は地域に役立ちたいという思いがあれば、きっと誰でも始められます。

<活動の様子>



講義を行っている様子



スマホの楽校とは？

公益社団法人・戸田市シルバー人材センターが実施している市民向けカルチャー教室。スマホの操作が不慣れな方を対象に、操作ができるようサポートすることを目的としている。

～ラジオ体操で地域の繋がりを～

トマピー健康体操の会

Q. 活動へ参加したきっかけは何ですか？

A. 社会福祉協議会主催の「ラジオ体操講座」を出発点に、受講者が自主的にグループを結成しました。

Q. やりがいは何ですか？

A. 継続することと、「来たい人が気軽に来られる」という雰囲気を重視しています。無理なく続けられる、健康効果を実感したなどの声もあります。

Q. 大変なことは何ですか？

A. 活動している場所がわかりにくいなど、周知の工夫が必要です。また、代表者の負担軽減のため、メンバーと協力し合いながら運営中です。

Q. みなさんへひとことお願いします！

A. 健康のためだけでなく、地域のつながりを感じられる居場所としても続けていきます。ご興味のある方、まずはお気軽に。いつでもお待ちしております。

<活動の様子>



トマピー健康体操の会の皆さま



活動の様子



トマピー健康体操の会とは？

ラジオ体操を通して、地域の関係づくりを推進すると共に、社会福祉の向上を図る団体。



～まちを花と緑でいっぱい～

とだ緑のボランティア（戸田市水と緑の公社）

Q. 活動に参加したきっかけは何ですか？

A. 花が好きだから。何か役に立てることをしたいと思ったからです。

Q. やりがいは何ですか？

A. 自分がやったこと（花を植えたり、手入れをしたり）が形になって見えることや、活動中に通りがかった人が声を掛けてくれることです。

Q. 大変なことは何ですか？

A. 夏場の水やりです。みんなで熱中症に気を付けながらやっています。

Q. みなさんへひとことお願いします！

- A. 実際にボランティアに参加している方から
- みどりの公社のサポートもあり、みんなで楽しくできています。仲間が増えると嬉しいので、気兼ねなく来てほしいです。
 - 好きだからできています。また、自分の都合が良いときに参加できるため、わりと自由に、気楽にできます。
 - もっとメンバーが増えると嬉しい。ぜひお花を大切にしてほしいです。

<活動の様子>



ボランティアに参加している皆様



↑戸田公園駅前の花壇
↓活動している様子



とだ緑のボランティアとは？

都市緑化の推進と地域コミュニティ活性化のため、公園や道路等の空閑地を活用した花壇づくりをしている団体。

～笑顔になれる中高生の居場所づくり～

PWIB (Place Where I Belong)

Q. 活動へ参加したきっかけは何ですか？

A. きっかけは友人の不登校経験です。「学校や家庭以外に安心して過ごせる居場所をつくりたい」という思いから始めました。

Q. やりがいは何ですか？

A. 市内他地域も視野に、“地域で見守る居場所”を目指します。PRも強化し、利用者が次のリーダーになるような循環型の育成も構想中です。

Q. 大変なことは何ですか？

A. ニーズがあるのか不安でしたが、実際は大きな反響があり手応えを感じました。参加者増に伴い、運営側の人手不足が課題です。

Q. みなさんへひとことお願いします！

A. 「友達と一緒に」「ひとりで気軽に」也大歓迎。親御さんも、どうか安心して見守ってください。ご参加お待ちしております！

<活動の様子>



PWIB 代表のお2人



活動の様子

PWIB とは？

笹目地区を拠点に中高生の居場所をつくる活動をしている団体。メンバーの半数以上が学生（高校生・大学生）であるのも特徴。

第5期 戸田市自治基本条例推進委員会に参加している、 「市民・議会・行政」の3者よりメッセージ

市民委員コメント

議員委員コメント

行政委員コメント



自治基本条例推進委員会様子

このまちをもっとすてきなものにするために、
多くの市民が活躍しています。

今回紹介したのは、その中のほんの一部です。

このまちを、もっと暮らしやすい、住んでいてよかった、
これからも住み続けたいと思えるようなまちにするために、
ぜひ、あなたの持つ力を発揮して、
まちづくりに参加してみませんか？



あなたの想いや興味が、
まちづくりにつながります。



戸田市自治基本条例 (インタビュー詳細など)



自治基本条例ページ

ボランティア活動って 何があるのかな



戸田市ボランティア・
市民活動支援センター
(TOMATO)
TEL 048-441-4444

私の町会・自治会 はどこかな



戸田市町会連合会 HP

戸田市公式 LINE はこちら



戸田市公式 LINE

知りたい情報が ここにある！



外国の方と 交流したいな



戸田市国際交流協会 (TIFA)
TEL 048-434-5690



戸田市公式 HP

戸田市のこと もっと知りたいな



戸田市議会

戸田市議会はどんな ことをしているのか



パブリック・コメント制度
どんなパブリック・コメント
があるのかな



発行日 令和7年(2025年)●月
発行 戸田市
編集 自治基本条例推進委員会
(事務局：戸田市市民生活協働推進課)

まちづくりに参加したい場合は
お気軽にご相談ください
戸田市役所 (協働推進課)
TEL 048-441-1800



【自治基本条例パンフレット】喜沢1丁目 町会 詳細インタビュー

掲載日：2026年1月5日更新

Q1. 活動をはじめた「きっかけ」はなんですか？

町会への関わりは、PTAの会長として地域と学校を繋ぐために、町会へ足を運ぶようになったことがきっかけです。そこから、町会活動へ参加するようになりました。

町会長になったのは、PTA会長を辞めたとき、町会の執行部役員となり、時の経過とともに町会長になりました。

Q2. 活動への思いや意気込み、やりがいを聞かせてください！

行事の参加者の楽しそうな表情や雰囲気、町会OBの方や町会を支えてくれていた上の世代（80・90代）の方から激励を受けたときに、やりがいを感じます。また、町会の存在をありがたいと思ってもらえると嬉しいです。

それらのやりがいや喜びが、新しい取り組みを実行することに繋がっています。

Q3. 活動で苦労していることや大変なことはなんですか？

①町会の加入促進

昔は町会に入っているのが当たり前でしたが、年々加入者数が減っていています。よく見られるのは、親の世代は加入し、町会の活動をしていてくれましたが、その親が亡くなり子どもの世代になったタイミングで、町会から脱退するケース。また、配偶者の地元で加入しているも、活動に参加するのがもう一人の配偶者で、馴染みのない地域の町会に入っていくことや活動していくのが難しいなどの理由で、町会を脱退するケースなどがあります。

加入率低下の要因のひとつに、「町会には、子どもや若者への魅力が無い」という声もあります。そのため、若者や子どもにも町会に興味を持ってくれるよう、様々な取り組みを行っています。

昨年は、様々な世代のお母さん方が繋がる子育てサロンを行いました。しかし、参加者を集められず失敗してしまったので、今年は広報の見直しなどを行い、新しい取り組みにも参加者を増やしていきたいと考えています。また、夏休みには、町会会館を子どもの遊び場として開放したり、町会活動報告を年4回作成して全戸配布したりと、町会の加入促進に向けて努力しています。しかし、なかなか町会の加入につながらず、苦労しています。

②外国籍の方の対応

喜沢は人口の26%が外国の方です。若干名、町会にも加入されていますが、文化の違いもあり、加入促進が難しいです。

みなさんに一言お願いします！

これからも地域の皆さんに町会活動に関心を持ってもらえるよう、いろいろな施策も展開していきます。

是非町会にご加入いただき、よりよい町会活動のためのご意見を出していただきながら、一緒に災害時の自助共助ふくめ、魅力ある町会運営を支えていただきたく、お願い申し上げます。

どんな活動をしているんだろう。様子を見てみよう！



＜餅つき大会での様子＞



＜お祭りの様子＞



＜防犯パトロール＞



＜町会会館での様子＞

このページに関するお問い合わせ

[協働推進課](#)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 市役所本庁舎3階

[戸田市役所アクセスマップ](#)

電話：048-441-1800（代表） ファクス：048-433-2200 [お問い合わせはこちらから](#)

ご意見をお聞かせください

お求めの情報が十分掲載されていませんか？

☐ 十分だった ☒ 普通 ☐ 情報が足りない

ページの構成や内容、表現は分かりやすいものでしたか？

☐ 分かりやすい ☒ 普通 ☐ 分かりにくい

【自治基本条例パンフレット】氷川町子ども会 詳細インタビュー

掲載日：2026年1月5日更新

Q1. 活動をはじめた「きっかけ」はなんですか？

私自身が子どもの頃に入会していたのがきっかけです。子ども会で、たくさん楽しんだ思い出があるからです。歓迎会や盆踊り、クリスマスなど1年間通して様々なイベントがありました。高学年になると司会などの役割や参加出来る行事が増え、更に充実した経験だった事を覚えています。そんな背景もあり、娘の入学を機に入会しました。

Q2. どんな活動をしているんですか？

主な活動は、公園清掃（年24回）や、ちびっこプールの運営、季節行事（歓迎会・ハロウィン・クリスマス会など）、リーダー研修会の参加があります。小学生も入水可能な「ちびっこプール」は、氷川町子ども会ならではの特徴です。

子どもたちの成長を地域で見守りながら、令和7年度は年間50件ほどの活動を12世帯で支えています。活動はイベントごとに担当を分け、保護者の負担軽減を工夫しています。

Q3. 活動への思いや意気込み、やりがいを聞かせてください！

活動をとおして、子どもの成長や思い出を共感できることが嬉しいです。

また、活動を共にする事で信頼関係が生まれ、子どもたちにとって「安心できる大人」として日常生活でも寄り添えることにやりがいを感じます。

行事を企画・進行するにあたり、保護者の負担を軽減するため、地域の他団体と連携し、ワークショップやイベント企画を外部講師に依頼するなど、協働体制を模索中です。また、市の「地域子育て条例」にも合致する存在として、継続的な支援と協力を呼びかけています。

Q4. 活動で苦労していることや大変なことはなんですか？

会員減少と新規入会の壁が最大の課題です。

入会促進のため、活動内容を周知するチラシ配布や「お楽しみ会」などの体験機会を設けています。また、運営は「頑張りすぎない」「できる人ができる範囲で」を大切に、役割の可視化や引き継ぎの工夫にも取り組んでいます。

大人だけでなく、子どもたちがイベント司会などに参加することで主体的に関われる工夫も行っています。

みなさんに一言お願いします！

子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿、地域ですれ違う時に「こんにちは」と声をかけてくれる関係性...それは、子ども会を通じて生まれる“第3の大人”とのつながりです。学校の先生でも親でもない地域の存在として、子どもたちと自然に関われるのは、今の社会ではとても貴重なことだと感じています。

子ども会は、保護者同士が情報交換できる場でもあります。地域に知り合いがいない、初めて戸田に引っ越してきた...そんな方にこそ、ぜひ参加してほしい。子どもたちの笑顔と保護者のつながりが、地域にあたたかい風を運んでくれるはずです。

我が子の時間に寄り添ってみませんか？

どんな活動をしているんだろう。様子を見てみよう！



<クリスマス会の様子>



<活動の様子>

このページに関するお問い合わせ

[協働推進課](#)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 市役所本庁舎3階

[戸田市役所アクセスマップ](#)

電話：048-441-1800（代表） ファクス：048-433-2200 [お問い合わせはこちら](#)

くらしの情報

子育て・教育

健康・医療・福祉

観光・文化・スポーツ

事業者の方へ

市政情報

キーワードから探す

検索

[トップページ](#) > [分類からさがす](#) > [市政情報](#) > [行政運営](#) > [自治基本条例](#) > 【自治基本条例パンフレット】おやじの会（喜沢小学校）
詳細インタビュー

【自治基本条例パンフレット】おやじの会（喜沢小学校） 詳細インタビュー

掲載日：2026年1月5日更新

Q1. 活動をはじめた「きっかけ」はなんですか？

平日は学校行事に参加することが難しいが、土日なら子どものために関われるのではないかと。授業参観時、校内でおやじ同士があいさつする光景が実現できれば、不審者は嫌がるのではないかと。など、そのような思いから子ども達のために発足しました。

地元に仲間のいない方でも、この会を通じて定年後も地元での飲み仲間ができればいいな、との思いもあります。また、いろいろな職業の人が集まれば、ちょっとした修繕や職業を生かした協力ができるのではないかと考えました。

Q2. どんな活動をしているんですか？

地域の子供達とおやじが交流し、様々な体験や思い出作りを通じて、成長していくことを目的とした地域活動団体です。新しい友達作りや地域とのつながりを大切にしています。対象は、主に喜沢小学校の子ども達で、保護者の協力を得ながら安心安全に気を付けながら楽しく活動しています。会のメンバーは30～50歳が中心（OBと児童のお父さん方）に19人程度になります（喜沢小に続き、戸田東小、東中、戸田第二小もできました）。

普段の活動では、小学校区付近のお祭り後の見回り活動や、災害発生時に何をすべきか学ぶ避難所体験キャンプ（小学校で開催）を行っています。季節ごとに、お祭りや防災キャンプなど多彩なプログラムを考え、子どもたちの自主性や協調性を育むことを目指しています。活動の中で、時には話を聞かない、ルールを守れない子ども達に対しては、昔ながらの近所のおじさんの様に叱るなんてことも。

おやじの会の会員のつながりで、特別授業を行ったりしています。小学6年生を対象に、プロのミュージシャンの夢の実現に関する特別授業（コロナ流行前の十数年間。今は小休止中）や、日本人トップクラスの故女性登山家による、自然の厳しさに対しての特別公演などを行っていました。また、消防署にお願いして消防車を呼んだり、学校の授業の一環で、もち米を育てるところから始めて餅つきを行ったりもしていました。

Q3. 活動への思いや意気込み、やりがいを聞かせてください！

学校行事や参観日などに行っても、いつも一人だったお父さんも、おやじの会に入会后、同志から挨拶や話すことなどが増え、入って良かったという声が多いです。

今後は、下戸田地区にあるおやじの会を集めて、合同でなにかしたいと考えています。

Q4. 活動で苦労していることや大変なことはなんですか？

なかなかおやじメンバーが増えないことです。子どもとはもっと関わりを持ちたいが、仕事が忙しく、時間がなかなか作れない様々な理由で一歩が踏み出せないお父さんが沢山います。



ページトップへ

みなさんに一言お願いします！

いつも喜沢小おやじの会の活動にご理解頂きありがとうございます。今後も喜沢小学校の子ども達と共に活動を行い元気で子どもらしい教育のお手伝いが出来ればと思います。よろしくお願いいたします。

どんな活動をしているんだろう。様子を見てみよう！



＜おやじの会オリジナルTシャツ＞



＜防災キャンプの様子＞

このページに関するお問い合わせ

[協働推進課](#)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 市役所本庁舎3階

[戸田市役所アクセスマップ](#)

電話：048-441-1800（代表） ファクス：048-433-2200 [お問い合わせはこちらから](#)

ご意見をお聞かせください

お求めの情報が十分掲載されていましたか？

☐ 十分だった ☒ 普通 ☐ 情報が足りない

ページの構成や内容、表現は分かりやすいものでしたか？

☐ 分かりやすい ☒ 普通 ☐ 分かりにくい

この情報をすぐに見つけることができましたか？

☐ すぐに見つけた ☒ 普通 ☐ 時間がかかった

（注釈1）いただいたご意見は、より分かりやすく役に立つホームページとするために参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。

（注釈2）ブラウザでCookie（クッキー）が使用できる設定になっていない、または、ブラウザがCookie（クッキー）に対応していない場合はご利用頂けません。

確認



ページトップへ

[くらしの情報](#)

[子育て・教育](#)

[健康・医療・福祉](#)

[観光・文化・スポーツ](#)

[事業者の方へ](#)

[市政情報](#)

[キーワードから探す](#)

[検索](#)

[トップページ](#) > [組織からさがす](#) > [協働推進課](#) > 【自治基本条例パンフレット】戸田市防災士会 詳細インタビュー

【自治基本条例パンフレット】戸田市防災士会 詳細インタビュー

掲載日：2026年1月5日更新

Q1. 活動をはじめた「きっかけ」はなんですか？

防災士になったきっかけは、町会長をしていたとき、市から防災士資格を取得するための助成金制度があるという話を聞いたことでした。

それをきっかけに「町の安全を守るために役立てたい」と思い、防災士の資格を取ろうと決意しました。

Q2. どんな活動をしているんですか？

私たちの防災士会は2016年に発足し、現在は42名の会員で構成されています。

主な活動内容としては、地域の施設や公民館で行われる防災講演会や防災イベントへの参加をはじめ、防災に関する様々な取り組みを行っています。

Q3. 活動への思いや意気込み、やりがいを聞かせてください！

行政機関や各町会とさらに連携を深め、地域の皆さまに防災意識を高めていただけるような活動を積極的に展開していきたいと考えています。

Q4. 活動で苦労していることや大変なことはなんですか？

活動を通じて感じる課題の一つは、防災士会自体の認知度がまだ十分でないことです。

そのため、地域での活動の際に、少々やりづらさや限界を感じる場面もあります。

みなさんに一言お願いします！

より多くの方々に防災の重要性を伝え、安心・安全なまちづくりに貢献していければと願っております。

どんな活動をしているんだろう。様子を見てみよう！



[ページトップへ](#)



＜避難訓練イベントでの様子＞



＜防災講座の様子＞



＜防災ワークショップでの様子＞

このページに関するお問い合わせ

[協働推進課](#)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 市役所本庁舎3階

[戸田市役所アクセスマップ](#)

電話：048-441-1800（代表） ファクス：048-433-2200 [お問い合わせはこちら](#)

ご意見をお聞かせください

お求めの情報が十分掲載されていませんか？

☐ 十分だった ☒ 普通 ☐ 情報が足りない

ページの構成や内容、表現は分かりやすいものでしたか？

☐ 分かりやすい ☒ 普通 ☐ 分かりにくい

この情報をすぐに見つけることができましたか？

☐ すぐに見つけた ☒ 普通 ☐ 時間がかかった

（注釈1）いただいたご意見は、より分かりやすく役に立つホームページとするために参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。

（注釈2）ブラウザでCookie（クッキー）が使用できる設定になっていない、または、ブラウザがCookie（クッキー）に対応していない場合はご利用頂けません。

確認



ページトップへ

くらしの情報

子育て・教育

健康・医療・福祉

観光・文化・スポーツ

事業者の方へ

市政情報

キーワードから探す

検索

[トップページ](#) > [分類からさがす](#) > [市政情報](#) > [行政運営](#) > [自治基本条例](#) > 【自治基本条例パンフレット】スマホの楽校 詳細インタビュー

【自治基本条例パンフレット】スマホの楽校 詳細インタビュー

掲載日：2026年1月5日更新

Q1. 活動をはじめた「きっかけ」はなんですか？

元々は「ITボランティア」としてパソコン講座などを行っていましたが、シルバーの全国誌に野木町のシルバー人材センターさんのスマホの楽校の記事を見たのがきっかけです。

これからのニーズがあるのではないかとということで、視察を申し入れました。視察には、シルバー人材センターの事務所の方々と、当時パソコン同好会から清水会長と伊藤さん他の5名で行きました。その後、野木町シルバー人材センターさんの了解のもと、現在の「スマホの楽校」と命名し、シルバー人材センターのカルチャー教室として、開校できました。

シルバー会員だけでなく、広く市民が参加できる、開かれたスクールであること、また、「苦手のスマホを楽しく学べる」というコンセプトで、楽しく学ぶ「楽校」を目指しています。

Q2. どんな活動をしているんですか？

現在、開校から4年目になり、月2回・半年コースで行っています。

コースは、基本操作を重点的に学べる初心者向けの「入門コース」と、ある程度操作できるようになった方向けに、いろいろなアプリの使い方が学べる「実践コース」の2種類があり、繰り返し通う方も多いです。Android、iPhone、及びかんたんスマホに対応しています。機種の違いに苦労しながらも柔軟に対応しています。サポーターは約5名体制で、講師1名に、他のメンバーが個別フォローを行っています。常にサポートスタッフを配置して、受講生が持参するスマホについて、操作をわかりやすく説明しています。

雑談や参加者同士の助け合いも活発で「学びの場」と「交流の場」となっております。

Q3. 活動への思いや意気込み、やりがいを聞かせてください！

携帯ショップでは対応が有料化・簡略化されている今、「何度でも聞ける安心な場所」が求められています。家族に聞きづらい・聞いても喧嘩になってしまう...そんな悩みを抱える高齢者の方にとって、安心できる学びの場になるように活動しています。

また、シルバー世代のデジタルデバイドを、少しでも減らしていきたいです。「スマホの楽校」が、シニア世代の生涯学習の機会を提供し、社会参加の促進に貢献すること。さらに、スマホを利用できることで、社会とのつながりを持続けられることを目指しています。加えて、シルバー世代がスマホを利用できることで、地域活動への参加（とだペイ、コバトン ALKOOなど）意欲向上や、消費行動（オンラインショッピング、キャッシュレス決済利用など）の変化に対応していただけるのではないかと考えています。町会や高齢者施設からの依頼もあるので、会場や活動の広がりを模索中です。

やりがいは、受講者の「ありがとう」「ここに来てよかった」の声が支えになっています。

Q4. 活動で苦労していることや大変なことはなんですか？



ページトップへ

受講者の機種ごとに仕様が異なるため、講座中の対応が大変です。また、自分のスマホのことすら分からず受講に来る人も多いので、講座では基礎的な対応が求められます。

高齢化が進み、指導側も受講側も年齢層が高めです。若い世代の講師・サポート役が少ないことが課題だと考えています。

みなさんに一言お願いします！

「自分の場所を見つけること」が継続のモチベーションになります。若い世代の方は、今は参加が難しくても、将来的に地域活動へ戻ってきてくれると信じています。

モヤモヤする団体の方も、「需要とつながる工夫」をすれば道は開けます。他団体や市民活動ともしっかり連携できれば、活動の幅も広がるのではないかと考えます（例：出張講座、ワークショップ、技術交流など）。

新しいことを始めるのに年齢は関係ありません。見学や体験参加の方法は、戸田市シルバー人材センターへお問い合わせください。一緒に楽しく学びましょう！

どんな活動をしているんだろう。様子を見てみよう！



＜講義を行っている様子＞

このページに関するお問い合わせ

[協働推進課](#)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 市役所本庁舎3階

[戸田市役所アクセスマップ](#)

電話：048-441-1800（代表） ファクス：048-433-2200 [お問い合わせはこちらから](#)

ご意見をお聞かせください

お求めの情報が十分掲載されていませんか？

☐ 十分だった ☒ 普通 ☐ 情報が足りない

ページの構成や内容、表現は分かりやすいものでしたか？

☐ 分かりやすい ☒ 普通 ☐ 分かりにくい

この情報をすぐに見つけることができましたか？

☐ すぐに見つけた ☒ 普通 ☐ 時間がかかった

（注釈1）いただいたご意見は、より分かりやすく役に立つホームページとするために参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。

（注釈2）ブラウザでCookie（クッキー）が使用できる設定になっていない、または、ブラウザがCookie（クッキー）に対応していない場合はご利用頂けません。

確認



ページトップへ

くらしの情報

子育て・教育

健康・医療・福祉

観光・文化・スポーツ

事業者の方へ

市政情報

キーワードから探す

検索

[トップページ](#) > [組織からさがす](#) > [協働推進課](#) > 【自治基本条例パンフレット】トマピー健康体操の会 詳細インタビュー

【自治基本条例パンフレット】トマピー健康体操の会 詳細インタビュー

掲載日：2026年1月5日更新

Q1. 活動をはじめた「きっかけ」はなんですか？

2025年2月、社会福祉協議会が主催した「みんなで始めるラジオ体操講座」が出発点です。

「ちょっと身体を動かしたい」「誰かとおしゃべりしたい」そんな気持ちで、受講者が自主的にグループを結成し、日曜日の朝9時30分に集まって、健康体操を継続中。そこから仲間ができて、今では毎週笑顔で集う場に育ちました。

グループ内にはスポーツ推進員の経験者もあり、障がい者向けの活動も並行して実施しています。

Q2. どんな活動をしているんですか？

体操は誰でも参加できる内容で、椅子を使った体操も行っています。健康の維持だけでなく、地域の居場所づくり、コミュニケーションのきっかけにもなっています。熱意が高い参加者も多いです。

運動が苦手でもラジオ体操なら続けられる。睡眠の質が向上し、夜中にトイレに起きる回数が減ったなど、健康効果を実感しているとの声や、小学生がラジオ体操を知らない現状に驚き、「昭和の文化」を伝えていく意義も共有されたとの声も聞かれます。

Q3. 活動への思いや意気込み、やりがいを聞かせてください！

継続すること自体が大切で、人数を増やすよりも「来たい人が気軽に来られる」雰囲気重視しており、体操の「マニュアル化」やピアノ演奏などの工夫で楽しさも演出しています。

市や社協と連携し、町会会館や地域公園などでの展開も視野に、「できる人ができる範囲で」支え合いながら継続し、無理なく地域に根付かせていきたいです。

Q4. 活動で苦労していることや大変なことはなんですか？

場所が奥まっって初めての人が迷うなど、周知の工夫や、代表者の負担を軽減するため、協力し合いながら運営をしています。活動場所（市民活動支援センターTOMATO）には福祉職員もあり、支援体制が整っていて安心ですし、市内他地域への広がりも期待されており、今後のモデルケースにもなり得ると思います。

みなさんに一言お願いします！

「来てないと、どうしたの？って気になる」そんな温かい声かけが自然に生まれる、そんな場所です。健康のためだけでなく、[世代のつな](#)がりを感じられる居場所として、これからも続けていきます。



年齢や体力に関係なく、自分のペースで無理なく続けられます。ご興味のある方、運動が苦手な方も、まずはお気軽に、ぜひ一度のぞいてみてください。あなたの参加を、いつでもお待ちしております。

どんな活動をしているんだろう。様子を見てみよう！



＜トマピー健康体操の会の皆さま＞



＜活動の様子＞

このページに関するお問い合わせ

[協働推進課](#)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 市役所本庁舎3階

[戸田市役所アクセスマップ](#)

電話：048-441-1800（代表） ファクス：048-433-2200 [お問い合わせはこちら](#)

ご意見をお聞かせください

お求めの情報が十分掲載されていませんか？

☐ 十分だった ☒ 普通 ☐ 情報が足りない

ページの構成や内容、表現は分かりやすいものでしたか？

☐ 分かりやすい ☒ 普通 ☐ 分かりにくい

この情報をすぐに見つけることができましたか？

☐ すぐに見つけた ☒ 普通 ☐ 時間がかかった

（注釈1）いただいたご意見は、より分かりやすく役に立つホームページとするために参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。

（注釈2）ブラウザでCookie（クッキー）が使用できる設定になっていない、または、ブラウザがCookie（クッキー）に対応していない場合はご利用頂けません。

確認



ページトップへ

くらしの情報

子育て・教育

健康・医療・福祉

観光・文化・スポーツ

事業者の方へ

市政情報

キーワードから探す

検索

[トップページ](#) > [組織からさがす](#) > [協働推進課](#) > 【自治基本条例パンフレット】緑のボランティア 詳細インタビュー（個人会員の3人の方から伺いました！）

【自治基本条例パンフレット】緑のボランティア 詳細インタビュー（個人会員の3人の方から伺いました！）

掲載日：2026年1月5日更新

Q1. 活動をはじめた「きっかけ」はなんですか？

①「戸田駅前をきれいにしませんか？」という声かけがあり、戸田市をきれいにすることは素敵なことだし、何か役に立てることがしたいと思ったからです。

私は立ち上げから関わっていますが、他にも、立ち上げから現在まで活動を続けている方もいます。

②一番は花が好きだからです。

会社に勤めていたとき、通勤中に町を歩いていて、緑のボランティアが活動していることは知っていました。1人で花壇の手入れなどを行うのはハードルが高いと思ったため、ボランティアに参加しました。ボランティアに参加すれば、会話しながらできるので。

③花は好きですが、マンション暮らしで花を育てることができなかったからです。

戸田市の広報で活動について知り、まずは様子見で体験（見学）から始めましたが、みんな花が好きで優しかったので、ボランティアに参加しました。

Q2. どんな活動をしているんですか？

月に2～3回程度、水と緑の公社が管理している市内4か所の花壇で、お花を植えたり、お手入れをしたりしています。

Q3. 活動への思いや意気込み、やりがいを聞かせてください！

①自分で花を植えたり、手入れをしたりしたことが、形になって見えることや、活動中に通りがかった人が声を掛けてくれるので、やりがいに繋がっています。また、外に出るきっかけにもなるので、自分のためにもなっています。花の水やりは、活動日以外にも自主的に行うこともあります。

②町の花壇がきれいになり、成果が見えることです。活動日以外にも、週1で水やりをすることもあります。また、活動を見て、声を掛けてくれると嬉しいです。

③自宅のプランターとは違って、広い場所でできるので、やりがいがあります。また、市民の方に「ありがとう」や「きれい」[ベントラベ](#)を掛けてもらえたり、見てもらえたりすると、励みにもなります。保育園児が手を振ってくれることもあります。活動しながらお話ができ



るのも楽しいですし、お花愛がある方ばかりなので続けられます。

Q4. 活動で苦労していることや大変なことはなんですか？

①夏場のみずやりは暑くて大変です。

②現在は水と緑の公社に耕運機を入れてもらっていましたが、それまでは土を掘り起こすのも、すべて手作業で行っていたことです。

③夏場は熱中症が大変です。7月からは活動時間を9時30分からと時間を早めて対処したり、みんなで声を掛け合ったりしています。

みなさんに一言お願いします！

①団体所属ではなく個人会員のため、出られるときに出来る。というのがいいです。

水と緑の公社のサポートもあり、みんなで楽しくできています。仲間が増えると嬉しいし、毎回参加しなくても大丈夫なので、気兼ねなく来てほしいです。

②もっとメンバーが増えると嬉しいです。また、お花を大切にしてほしいです。

③活動は好きだからできます。また、自分の都合が良いときに参加できるため、わりと自由に、気楽にできます。

どんな活動をしているんだろう。様子を見てみよう！



<ボランティアに参加している皆様>



<戸田公園駅前の花壇>



<活動している様子>



<活動している様子>

このページに関するお問い合わせ

[協働推進課](#)



ページトップへ

くらしの情報

子育て・教育

健康・医療・福祉

観光・文化・スポーツ

事業者の方へ

市政情報

キーワードから探す

検索

[トップページ](#) > [分類からさがす](#) > [市政情報](#) > [行政運営](#) > [自治基本条例](#) > 【自治基本条例パンフレット】PWIB 詳細インタビュー

【自治基本条例パンフレット】PWIB 詳細インタビュー

掲載日：2026年1月5日更新

Q1. 活動をはじめた「きっかけ」はなんですか？

発起人は高校生だった青木さんで、友人の不登校がきっかけです。不登校の子に限らず、いろんな環境で普通に生活してる中高生の居場所があったらいいと思うようになりました。そこから、中高生が集まりやすい夜間の時間帯に焦点を当て、「学校や家庭以外に安心して過ごせる居場所をつくりたい」と思いから活動を開始しました。

団体名も、英語でPlace Where I Belong、「私が所属する場所、私の居場所」みたいな意味の頭文字を集め、「PWIB」にしました。

Q2. どんな活動をしているんですか？

イベント形式で既に2回開催しました。2回目は、instagramやチラシ配布などにより約40人が参加してくれました。

場所は主に「笹目6丁目町会館」です。町会長さんや地元団体さんに協力いただいています。

イベントでは、お菓子やマシュマロを囲んだ焚き火タイム、ワークショップなど、リラックスできる環境づくりを意識し、自由に温かな時間が流れています。

インスタなどSNSも活用し、告知や参加者との繋がりを形成しています。

現在は7名で運営していて、会議は来られるスタッフが中心に、なるべく全員が集まれる日にしようということで、ゆるくは集まれるようにはなっています。また、楽しく無理のない範囲でできるよう、年に3、4回（3、4ヶ月に1回ペース）くらいで継続予定です。中高生たちが集まりやすい時期を検討し、開催予定です。

Q3. 活動への思いや意気込み、やりがいを聞かせてください！

PWIBの活動の宣伝でワークショップをした時に、元々夜の活動に参加したことのある中高生が、自分たちで作成して配布したチラシを見て遊びに来てくれて、自分たちの作ったものを見て来てくれたことがとても嬉しかったです。

今後は、市内の他地域（新曽や喜沢など）へも広がっていきたくて考えています。場所を共有して広げる“モデルケース”化を目指していきたいです。

SNSやチラシ、ワークショップ出店などでPRを強化し、さらに認知を広げたいと考えています。参加者が将来的に団体に加わり、次のリーダーになるような循環型の育成も構想中です。

様々な地域から来てくれているので、埼玉県の青少年保護育成条例を踏まえた安全な時間管理も徹底しています。親や学校の先生など普段接することのない立場の運営側から伝え、参加者が参加した活動から帰る時にちゃんと帰らなかったり、フラフラしていたりすると、この人たちが迷惑かかるんだなみたいな、そんな関係性を築いて伝えていけたらなと思っています。

Q4. 活動で苦労していることや大変なことはなんですか？

不安だったのは「本当にニーズがあるのか？」という点でしたが、実際は大きな反響があり手応えを感じました。

資金面に課題を感じていましたが、スタートアップ補助金を活用しました。今後は協賛や寄付などの新たな資金調達も検討中です。



ページトップへ

参加者増に伴い、運営スタッフの人手不足が課題です。新たな仲間を募集中。ゆくゆくは、この夜の居場所に来てくれた方が運営側として加入してくれたらとても嬉しいです。

みなさんに一言お願いします！

ふらっときたい時、来れるような場所にしたいと考えてるので、利用者の中高生の方たちは、ほんとに気軽な気持ちで来ていただければと思います。友達と一緒にとかでも、1人でとかでも、自由に来て過ごしてほしいです。だからほんとにお気軽にお越しくださいっていう気持ちでお待ちしております。

親御さんも、ご自身のお子さんが夜に外にいるのってちょっと不安だと思うし、地域同士の繋がりが薄いというか、周りがどんな人かわからないからこそ、不安な気持ちも大きいと思いますが、その中で、地域の真ん中でない笹目側で夜の居場所を開催するって意味のあることだと思っています。参加した中高生たちは思いのほかしっかりしていて、ルールも自然と守れる——そんな“信じて任せる”関係づくりも大切にしています。安心してお子さんをここへ預けていただけたらなと思っています。

ご参加お待ちしております！

どんな活動をしているんだろう。様子を見てみよう！



<PWIB 副代表と代表>



<活動の様子>

このページに関するお問い合わせ

[協働推進課](#)

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 市役所本庁舎3階

[戸田市役所アクセスマップ](#)

電話：048-441-1800（代表） ファクス：048-433-2200 [お問い合わせはこちらから](#)

ご意見をお聞かせください

お求めの情報が十分掲載されていましたか？

☐ 十分だった ☒ 普通 ☐ 情報が足りない

ページの構成や内容、表現は分かりやすいものでしたか？

☐ 分かりやすい ☒ 普通 ☐ 分かりにくい

この情報をすぐに見つけることができましたか？

☐ すぐに見つけた ☒ 普通 ☐ 時間がかかった

（注釈1）いただいたご意見は、より分かりやすく役に立つホームページとするために参考にさせていただきますので、ご協力をお願いします。

（注釈2）ブラウザでCookie（クッキー）が使用できる設定になっていない、または、ブラウザがCookie（クッキー）に対応していない場合はご利用頂けません。

確認



ページトップへ

資料3 第五期自治基本条例推進委員会スケジュールについて



委嘱・条例説明

企画・準備・検討

報告

R6.7.1

第1回推進委員会

- ・委嘱状交付
- ・顔合わせ
- ・自治基本条例とは
- ・意見交換
- ・今期の委員会スケジュール提示

R6.10.8

第2回推進委員会

- ・啓発活動の検討について（さくらパル啓発ブース）
- ・パンフレット作成の検討について

R7.2.18

第3回推進委員会

- ・啓発準備等について
- ・パンフレット作成の検討について

R7.3.22

さくらパル祭り啓発ブース

R7.7.4

第4回推進委員会

- ・啓発活動の検討について（商工祭啓発ブース）
- ・パンフレット作成について

R7.9.16

第5回推進委員会

- ・パンフレット作成について

R8.1.9

第6回推進委員会
パンフレット完成

- ・2年間の活動の振り返り
- ・パンフレットの報告について
- ・啓発活動の準備等について
- ・次期委員会について

R8.1.15

市長への答申式

- ・市長へのパンフレットの提出（委員長・副委員長・事務局のみ出席）

R8.3

さくらパル祭り啓発ブース

2. 第五期自治基本条例推進委員会開催日程について



時 期	会議名	内 容
令和6年7月 1日（月） 午前10時～11時30分	第1回推進委員会	委嘱状交付、スケジュール等について
令和6年10月8日（火） 午前10時～11時30分	第2回推進委員会	啓発活動の検討、パンフレットの検討
令和7年2月18日（火） 午前10時～11時30分	第3回推進委員会	啓発活動の準備、パンフレットの検討
令和7年3月22日（土） 午前10時～午後3時	さくらパル祭り啓発活動	啓発活動の実施
令和7年7月4日（金） 午前10時～11時30分	第4回推進委員会	啓発活動の検討、パンフレットの作成
令和7年9月16日（火） 午前10時～11時30分	第5回推進委員会	パンフレットの確認
令和8年1月9日（金） 午前10時～11時30分	第6回推進委員会	パンフレットの最終確認、承認
令和8年1月15日（木）	市長への答申式	第5期自治基本条例推進委員会の報告
令和8年3月（予定）	さくらパル祭り啓発活動	啓発活動の実施